

上野小だより

上野村立上野小学校
学校通信 第2号(担当:梯)
令和5年5月1日発行



給食が始まりました。1年生の教室風景。

新年度が始まり1ヶ月

5月に入り、新年度の学校生活も1ヶ月が経とうとしています。新一年生も小学校生活に慣れたようで、一生懸命に国語や算数の勉強をしたり、「給食が全部食べられました」「雲梯が全部できるようになったので見てください」「飾りがきれいにできたので校長室に飾ってください」と話しに来てくれたり、毎日元気な姿が見られます。一つ学年が上がった2年生から6年生の子供達も、勇気を出して新しいことへチャレンジしていく姿が見られ、学校の中が意欲に満ちた1ヶ月となっています。

5月は、移動音楽教室やみそ工場見学、鮎の放流、フォレストリースクールなど、学校の外へ出て学ぶ機会が多くなります。子供達は、実体験を通して本物がもつ力の大きさや、そこに関わる人々の思い、上野村の自然の豊かさなど、多くの「実感」を得ながら学んでいます。5月も、子供達の姿が楽しみです。



入学式後の片付け。6年生がどんどん働きます。

一年生の作品が校長室を飾ります。



5年生企画・運営の全校遊び。みんなで思いっきり遊びます。次回の企画・運営は4年生です。



低中学年の子供達も仕事を見つけて働きます。



子供達の想像力と行動力は無限だと感じます。



今年も地域の方々にお世話になります。グラウンドゴルフ。



手に豆ができて、夢中で遊びます。

「みんなの上野小学校」 新しい看板が設置されました

昨年度の6年生が卒業時に学校の看板を手作りし、バス停前の入り口に設置してくれました。そこには「みんなの上野小学校」と書かれています。「みんなの」という言葉が心に響きます。子供達はもちろん、保護者の方々、



地域の方々、学校職員、上野村すべての人にとっての「みんなの上野小学校」です。看板を見る度に卒業生を思い出すのと同時に、子供達をみんなと一緒に育てていきたい、今日も頑張るぞ、との思いがわいてきます。

「将来に生きて働く力」となるための学び方へ

先日、驚きを持って一つの資料を読みました。それは、「2007年に日本で生まれた子供の半数が、107歳より長く生きる」というものです。2007年生まれは、今の高校一年生です。私たちは、22世紀を生きる子供達と関わっているということを深く感じました。最近、AIの進歩の早さやそれに伴う社会の変化や課題、新しく生まれる職業やなくなっていく職業など、多くのことが話題に上ります。大きく社会が変わっていく中、学校での学び方も、以前の「みんなで同じことを、同じように」「知識の暗記」が大きく重視されていたものから、主体的に考え、多様な立場の人と協働的に対話し、考えを深め、その中で自分の良さや可能性に気付いていく「将来に生きる学び方」へとしっかり変わっていく必要を感じます。従来の学びの良いところは残しつつ、新たな学び方を多くの場に加えながら、上野村の子供達をみんなで育てていきたいと改めて思いました。

日	曜	5月の主な予定	16	火	
1	月	職員遠足下見 集団下校 12:30	17	水	
2	火		18	木	花まる学習会 読書の日
3	水	憲法記念の日	19	金	交通安全教室(1,2年) みそ工場見学(3年) 鮎放流
4	木	みどりの日 読書の日	20	土	
5	金	こどもの日	21	日	
6	土		22	月	委員会 日本脳炎(4年) 二種混合(6年) 内科検診
7	日		23	火	上野中学校生職場体験(~24日)
8	月		24	水	フォレストリースクール(1~4年)
9	火		25	木	読書の日
10	水	希望者面談	26	金	胸部X線(希望者) 歯科検診
11	木	希望者面談 読書の日	27	土	
12	金	希望者面談 マンツーマン英会話教室開始	28	日	
13	土	高反教室①	29	月	クラブ
14	日		30	火	
15	月	移動音楽教室 職員会議 集団下校 15:00 家読の日	31	水	スクールカウンセラー来校 チャレンジデー

